

広めよう

11月2日
は
キッチン・バスの日
!

技^ぎ 風^{ふう} 堂^{どう} 々^{げん}

今号でご紹介する賛助会員
(企業訪問以外 社名五十音順)

- 大日本印刷株式会社1~2
- 株式会社KVK3
- JFEスチール株式会社4
- 東プレ株式会社5
- 日ポリ化工株式会社6
- 株式会社ハーマン7
- マックス株式会社8

※基本的にいただいた原稿を
そのまま掲載しています。

平素より工業会活動にご支援を賜り、誠にありがとうございます。
年2回発行している【K・B通信】とは別に、提供情報の充実を目的とした、
賛助会員をご紹介する【技風堂々】第11号を発行いたします。
キッチン・バス・洗面の製造販売には、
賛助会員の部品・部材・機器・エネルギー供給なしには、成り立つことはありません。
【技風堂々】の中で、製品・技術などの情報を提供していただく事により、
さらに理解を深め、会員相互の連携強化をはかって、キッチン・バス工業会を盛り上げていきます。

原稿募集中!

次号の原稿を募集しています。
事務局までお問い合わせください。
kitchen_bath@nifty.com

企業訪問



DNP
大日本印刷株式会社

最先端の印刷技術とトレンドを提案 大日本印刷株式会社様 訪問記

広報専門委員 土井 隆義(永大産業株式会社)

2月14日(水)、広報専門委員会で東京・五反田にある同社のショールームを訪ねました。

同社では、BtoBの立場からお客様との協業を進めるラボとして、コア技術である印刷(Printing)と情報(Information)の頭文字を取った「P&I LAB. SPACE CREATION」と呼ばれるプレゼンテーション&コラボレーション施設を昨年9月にオープンしました。今回、展示施設を通じて最新の技術やデザイン等について説明していただきました。

施設はコンセプトゾーン、商業空間ゾーン、居住空間ゾーン別に展示されており、お客様ごとにイメージ体験できる工夫がされていました。入口には大きなガラスがあり、同社のコンセプトの映像紹介が透明なスクリーンに鮮明に映し出され、非常に驚かされました。ガラスには液晶パネルなどに用いられる光をコントロールする技術が組み込まれているとのことで、エレクトロニクス分野にも力を入れていると感じ取ることができました。(関連するLCDパネルの表面シートは世界の約50%のシェアだそうです！)

ヒストリー紹介では年表による説明を受けました。同社の住空間との関係は古く、1952年に木目柄デザインのシート製作に始まり、ブラウン管テレビのキャビネットの木目柄塩ビシートなどを手掛けたそうです。80年以降も住宅建材や自動車の内装などにも展開している説明があり、我々の生活の身近なところにまで同社の製品が使われていることを知り、目から鱗が落ちました。また、2000年以降は商業施設などを中心に、外装材料にも商品展開をしているとのことでした。

会社概要

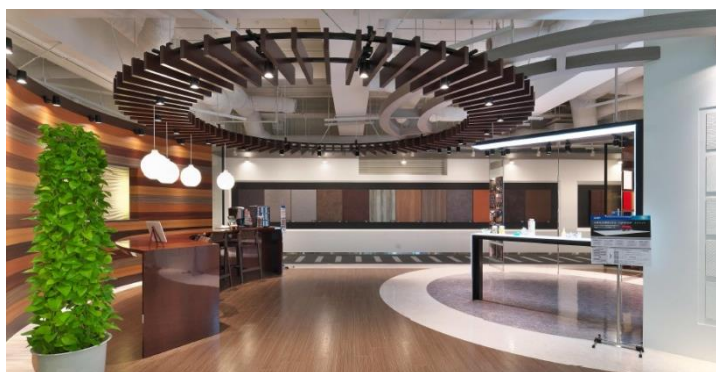
大日本印刷株式会社 (Dai Nippon Printing Co., Ltd.)
(東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号)
創業 1876(明治9)年10月9日
資本金 1,144億6,400万円
社長 北島 義俊

事業内容

・情報コミュニケーション、生活・産業、エレクトロニクス、清涼飲料



P&I LAB. SPACE CREATION のある
DNP五反田ビル 正面玄関



コンセプトゾーン



居住空間ゾーン



商業空間ゾーン

続いて、同社の取組として3つを紹介いただきました。

- ・「アドバンスドEB」:シート表面に電子線(Electron Beam)を照射し、キズや汚れ、耐久性などを向上させる技術
- ・「Habitable Design」:技術と技能の融合による新しい意匠表現と生活者の五感に訴える心豊かなデザイン
- ・「Life Style Vision」:先々のデザイントレンドを創り出す活動

エリアの一角には、若手社員が作った4つのデザインテーマをお客様にそれぞれを体感していただけるスペースが用意されていました。また、360度でインテリア空間が体感できるVRシミュレーションコーナーでは、手渡されたVRゴーグルを掛けると、まるでその場所に居るかのような体験が！しかも印刷用デザインデータをそのままレンダリングに活用しているので、実際のシートの質感に近い高精細な空間体験が可能です。同社では、印刷技術と情報技術を融合させた試みとして、ショールームやカタログなどのあり方についても真剣に考え、今後もトライし続けていくとのことでした。

施設ではさまざまな展示があり、同社の姿勢を強く感じ取ることができました。当工業会に関連する製品など、これからも我々の暮らしに密着した提案が続くものと改めて感じました。



ご案内いただいた
田中本部長

※後日談

3月開催の「JAPAN SHOP 2018」に出展されることをお聞きし、アートテックの大壁面(右写真)などを体感してきました！



田中本部長(後列左)と参加メンバー

ご紹介いただいた展示物について

【電子ペーパー】

アメリカ・ラスベガスで行われた展示会「CES2018」では、センサー技術と融合させたデモンストレーションが注目を浴びたそうです。展示品についても非常に感心させられるものでした。

【アートテック】

リアルな商業施設のあるべき姿として、金属の板にダイレクトに印刷する技術が紹介されていました。耐候性もクリアし、外装材など既にさまざまな商業施設に採用されており、これまでにないデザイン性が評価されています。

【導光板カウンター-Light Face】

LEDの光源による光のムラを解消する技術。LEDの発光を導光板の隅々にまで拡散し、均一な明るさが表現されていました。

【商業空間展示】

コンビニで採用されているカウンターや商業施設の内装のレンガのデザインなど、省メンテナンスや省人化・省力化に関する課題が解決できる提案展示がありました。中でも同社のグループ会社である「丸善雄松堂」との協同での提案は、本の陳列も空間として演出され、利用者に居心地のよい場所を提供できるとし、書店のほかマンション共用部などに採用されているとのことでした。

【電子タグ読み取り誤作動防止壁】

電子タグの読み取りの誤作動を低減させることを目的に、店舗とバックヤードの空間を同製品で施工するもの。今後もICタグが普及すれば需要も高まるのではと期待される製品でした。

【居住空間展示】

同社の主力製品であるシート「WSシリーズ」は毎年更新されており、デザイントレンドに合ったバリエーションが取り揃えられています。昨年のリニューアルではデンマークのスタイルを取り上げ、「HYGGE(ヒュッゲ)」「快適で豊かな時間空間を表すデンマーク語」をテーマとした空間展示が行なわれていました。また、同社ではデンマークから講師を招待してセミナーを開くなど、広くPRを展開しています。

【シミュレーションルーム】

建具と床材などのコーディネートを確認できる空間があり、同社のシートデザインを組み合わせることでお客様に提案できるスペースです。

【DNP Art Mail】

同社は有名な絵画のレプリカ製作権を持っており、その数は9万点！製品のレプリカは単なる平面状の印刷ではなく凹凸なども再現できるため、原画に近いものとしてお客様にも好評いただいているとのことです。

【ソリューションスクエア】

同ビルの1Fに設けられ、お客様のビジネスに新たなアイデアやヒントを喚起いただけるよう、さまざまな展示が行われています。

正面奥に構える「DNPマルチサイネージ トールビジョン 有機EL曲面タイプ」は、有機ELディスプレイを曲面形状で組み合わせた超大型のデジタルサイネージで、大型商業施設やショールーム、公共交通機関、オフィスビルやマンションのエントランスなどへの展開が期待されます。また、フランス・ルーヴル美術館とともに取組んだデジタルアーカイブ化に関する展示も過去行われており、実際の美術作品の展示をしたこともあったそうです。



わが社の自慢

KVK

株式会社KVK

株式会社KVKは、1939年の創業以来、水栓金具専門メーカーとして製造と販売に携わり続けています。

水栓金具は、朝、目覚めてから 夜、眠りにつくまで 日々の生活に欠かすことのできない大切なライフラインに繋がっています。毎日、目にするものだからこそ、デザインにこだわる。必ず使用するものだからこそ、使い心地にこだわる。大切な水資源に関わるからこそ、エコにこだわる。

これからもKVKは、80年にわたって培った水栓金具専門メーカーのノウハウでお客様のニーズに応えた“快適な水まわり”の創造に努めていきます。



こんなお話も

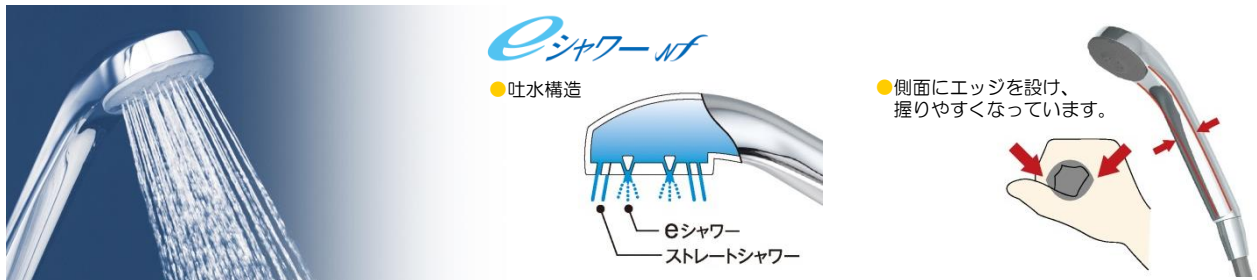
■デザインにこだわる ～グースネック水栓～

水栓をキッチンインテリアの主役としてデザインを追求した“魅せる”水栓です。360度どこから見ても美しい、先細りの滑らかな曲線に見えるよう、水栓本体からシャワーヘッドまでトータルデザインにこだわりました。また、お客様のニーズからマットホワイトやマットブラックなどのカラー水栓にも力を入れています。



■使い心地にこだわる ～eシャワー nf～

柔らかい浴び心地のeシャワーの周りをストレートシャワーで覆う二重構造にすることで、飛び散りを抑え浴び心地にこだわったシャワーです。細身のデザインで握りやすさにもこだわっています。



■エコにこだわる ～eレバー～

従来のシングルレバー式混合栓では、水だけを出す時、無意識にレバー中央で操作していることが多く、知らないあいだに給湯器を作動させていました。このムダを解決するためにレバー中央では水しか出ない構造にし、無駄なエネルギー消費を抑えエコにこだわりました。



わが社の自慢



JFEスチール株式会社

たゆまぬ技術開発 ～JFE443ファミリー3鋼種揃えニーズ対応～

JFEスチール株式会社は世界で唯一のクロム系(フェライト系およびマルテンサイト系薄板)に特化した一貫ステンレス鋼メーカーです。

この度、汎用オーステナイト系ステンレス代替のフェライト系ステンレス鋼板の中間品種として「JFE443MT」(21%Cr-0.5%Mo)を開発しました。2005年に開発したSUS304代替の「JFE443CT」(21%Cr-0.4%Cu)、16年に開発したSUS316代替の「JFE445M2」(22.5%Cr-1%Mo)の中間に位置する新鋼種です。

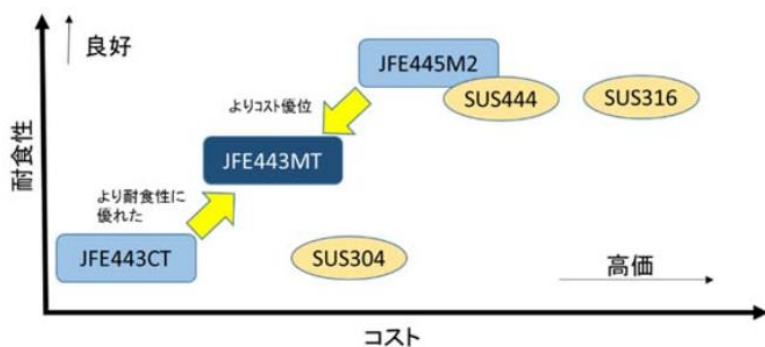
443CT、443MT、445M2という汎用性のある3鋼種を揃えたことで、厨房機器、生活用品、電気製品など幅広い分野できめ細かくニーズにこたえることが可能になりました。



SUS443J1カタログ



建設技術審査証明書
(建築技術)



汎用オーステナイト鋼の領域をカバーする443ファミリー

【SUS443J1の歩み】

- 2005年 商品化
- 2006年 日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞 受賞
- 2008年 第40回市村産業省 功績賞 受賞
- 2010年 SUS443J1のJIS認証 取得
- 2012年 建設技術審査証明書(建築技術) 取得
- 2013年 平成25年版 公共建築工事『標準仕様書』追加明記

こんなお話も

日比谷本社にて鉄を使ったアート作品を展示 ～鉄を扱うアーティスト・長坂絵夢氏の作品を展示～

当社日比谷本社23階にて、鉄を扱うアーティスト・長坂絵夢氏の展示会「EMU NAGASAKA : fallen leaves -corrosion-」を開催しました。鉄を素材とした作品を5点展示し、多くのお客様にご覧になっていただきました。

長坂氏は、国内外で作品を発表しているアーティストです。鉄を素材とした作品をメインで製作しており、その縁で今回の展示会が開催されることになりました。なお、作品の一部素材は当社東日本製鉄所(京浜地区)およびJFE鋼材株式会社より提供いたしました。

当社は今後とも、様々な方法で鉄の魅力や可能性を伝え、鉄鋼業の認知度向上や理解促進に努めてまいります。



展示会の様子1



展示会の様子2

わが社の自慢

1970(昭和45)年、製品の安全面で浴槽フタの上に子供が載り、風呂フタのズレや落下により溺死や火傷などの怪我が発生する事故が起きたことから、安全な風呂フタを提供するため、当社は製品安全協会SG登録工場の 第一号として認定を取得しました。昨今では、入浴の利便性や半身浴ブーム、エコ問題から発生した環境にやさしい『高断熱浴槽』など浴槽事情も多様化しています。それに伴い風呂フタも多種多様なニーズに対応するため、当社では清掃性の良い波型風呂フタ『イージーウェーブ』、コンパクトに収納でき、スペースの取らない折りたたみ風呂フタ『ラクネス』、カビの抑制を抑える『Ag風呂フタシリーズ』、清掃性の高いアルミ組み合わせ風呂フタ『センセーション』、断熱性を高めた『ECOウォーム』などあらゆるニーズに対応した『風呂フタ』を製造いたしております。

TOPRE
快適清潔空間を求めて
東プレ株式会社

製品安全協会から
浴槽ふたのSG登録工場
第1号として認定。(昭和50年)



SGマークは安全な製品
(Safe Goods)の略号です。

SG登録



ISO9001/CM009 JAB認証取得



ISO14001/CM009 JAB認証取得



「お掃除カンタン!」をかたちにしました
従来のシャッタータイプの風呂ふたに比べ約10%軽量化!



イージーウェーブ



溝を約7割減らしたので(※社比)掃除が簡単です。
シャッターふたの不満を解消!
約20%(※社比)省スペースに収納。

Ag折りたたみフタ



組み合わせて使えるから
一枚あたりの重さが軽く扱いやすい

Ag組み合わせフタ



冷めにく〜い風呂フタ (ECOウォーム)

こんなお話も

少子高齢化社会、はたまた地震などの災害が増え、社会情勢も不安なことから 昨今では風呂フタ以外にも落としても割れない、軽くて安心な『割れないミラー』、車いすなどの段差解消商品『介護スロープ』『鉄道用スロープ』などの製造・製造委託・販売なども行っています。

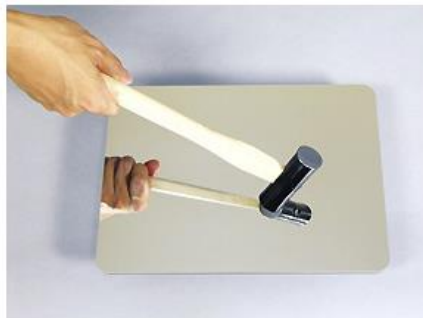


JIS



割れないミラー

軽い! 重さはガラスの半分以下!
素材の「軽量化」で
どこでも手軽に取り付け出来ます。



衝撃に強く、落としても、ぶつけても割れません。
お子様がいる家庭でも安心です。



介護スロープ・鉄道用スロープ

わが社の自慢

■創業55周年を迎えたユニットバス専門メーカー

日ポリ化工株式会社は、昭和37年に創業し、耐久性に優れたオールFRP製ユニットバスの製造を開始しました。

その後も、「家より長持ちするバスルーム」を目標に、FRP素材にこだわり続け、あらゆる角度からその技術開発に取り組み続けてきました。ユニットバスへの需要が飛躍的に高まるなかで、常に第一線に立ってFRPの品質改良、ユニットバスの先進化にたゆまぬ努力を注ぎました。

現在は、お客様のニーズに合わせて、素材・デザイン・機能性にこだわったオーダーメイドのバスルームを数多く手掛けています。オリジナリティあるユニットバスはその意匠性だけでなく、高い品質も評価いただいております。高級ホテルや高級分譲マンションに多数採用いただいております。

東京・大阪の各ショールームには、タイルをふんだんにあしらった高級感溢れるユニットバスから、機能性を追求した3点式ユニットバスまで、様々な商品を展示しております。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。



創業当時に作られたFRP製ユニットバス。
内風呂のない多くのご家庭で
ご愛用いただきました。

■ショールーム風景



たまご型の浴槽を搭載したOval



浴室全体にタイルをふんだんに使用したLILIBAシリーズ。壁パネルや浴槽エプロンは、当社独自のセラマス製法により製造されており、断熱性や耐水性・遮音性に優れています。



こんなお話も

■浴槽デザインコンペを行いました！

昨年、大学生を対象に、浴槽デザインコンペを実施しました。【設計自由度の高いFRPの可能性を表現する】という難しいテーマでしたが、40作品の応募がありました。グランプリを受賞した神戸芸術工科大学4回生(当時)の伊森智香恵さんの『胎内』は、デザイン画を基に実物大の模型を制作し、大阪ショールームに展示しています。

また、FRPの成形体験を通じて、ものづくりの楽しさを体感できるインターンシップも行っています。担当部門の社員から、ハンドレイアップ成形のレクチャーをし、一日がかりで制作します。出来上がった成形品を型から抜く瞬間の表情はどの学生も輝いていました。



授賞式の様子(グランプリ『胎内』の模型と共に)



インターンシップ(成形体験の様子)



インターンシップ(脱型の様子)

わが社の自慢

業界初の技術に挑戦し続ける

1930年(昭和5年)前身の株式会社陽栄製作所(ダンホット)が創業して以来、私たちは豊かで住みよい社会のため、そしてご家庭で便利に安心してお使いいただけるガス機器のご提供を目指して取り組んでまいりました。

さらに、私たちは魅力的で特長のある新製品開発に注力してまいります。

しかし、「技術」だけでは、いくら革新的であっても、心まで豊かにできるとは限りません。そこには「人」とのバランスのとれた「調和」があってこそ、本当に喜んでいただける製品になると思っております。

私たちは、これからも人と技術の調和する「生活環境の創造」で、「暮らしに新たな喜びと感動」を提供し続け、社会に貢献いたします。



業界初商品



業界初

1966年
圧電点火式コンロを
開発し、太田賞を受賞

■ガスコンロの革命！
マッチ点火から自動点火へ



業界初

1970年
両面焼グリル付
コンロを開発

■魚を裏返す手間を省き、
片面焼の半分の時間で
焼きあがる両面焼



国産品
第1号

1978年
システムキッチン用
ビルトインコンロを開発

■現在のメイン事業となっ
たビルトインガスコンロ
は、業界初



業界初

1981年
業界初の後方排気式
グリル付コンロ
「クリサット」を開発し、
太田賞を受賞

■グリル排気が後方なので、
お鍋の取っ手が溶け
たり、熱くならない



業界初

2014年
次世代ガスコンロ、スマートコンロを開発
2014年度グッドデザイン賞BEST100を受賞

■指先ひとつで思いのままに炎を操作、点火スイッチ着
脱可能、グリル革命の先導となるマルチグリル搭載、
コンロで初めてスマートフォン連動機能を搭載

こんなお話も

SWING OVEN

スイングオープン



56種類のオートクック調理

かきまぜ・火加減・調理時間を自動設定。
材料を専用容器に入れるだけで、簡単に
手間いらずで調理できます。



<材料を入れる>



<まぜる>



<完成>

14種類のパンやお菓子を自動調理

こね・発酵・焼き時間を自動設定。材料を
専用容器にいれるだけで、簡単に手間い
らずでパンやお菓子ができます。



<材料を入れる>



<こねる・発酵>



<完成>



ハンバーグ



チンジャオロース



カレー

わが社の自慢

MAX マックス株式会社

当社の歴史は、航空機の部品メーカーとしてスタートし、75年が経過しました。お客様の要望を細かく分析して、ニーズにマッチした商品やサービスを市場に送り出し、お客様の支持を得てきました。

住まいの快適環境づくりに欠かせない浴室暖房・換気・乾燥機や24時間換気システムをはじめ、発売以来ロングセラー、さらに進化し続けるホッチキスや住宅建築の生産性向上に大きな力を発揮する高圧釘打機、1993年世界で初めて開発した充電式鉄筋結束機など「使う人が満足するモノづくり」にこだわり続けています。



ハンディタイプで
40枚の書類をとじられる
『Vaimo11 STYLE』



鉄筋結束作業を効率化する
充電式鉄筋結束機
『ツインタイヤ RB-440T』



浴室暖房・換気・乾燥機『ドライファン』



マックス株式会社 中国・蘇州工場

こんなお話も

低回転ブレード破碎方式採用！『洗えるディスポーザ』が、さらに進化しました。

ディスポーザシステム

GD-B182シリーズ



中まで
すっきり!!



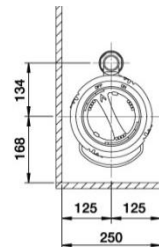
バスケットが取り出せ 丸洗いOK！
(マックスのオリジナル構造)
お手入れ簡単、清潔です。

取り出したバスケットも、洗えなかった破碎室下側も、奥の奥まできれいに清掃。
生ゴミ特有のヌメリやいやな臭いの発生も抑えられます。



切欠きが小さく
キャビネット収納力大きい
スリムな設計！

ボディのスリム化で、これまでより切欠きを約24% (当社GD-B181シリーズ比) 小さくしました。キャビネットの収納スペースも広く使えます。



業界最大、φ145mmの
投入口で使いやすい！
(シンク開口寸法φ180mmに対応)



生ゴミの投入がラクにできるのはもちろん、破碎室に異物が入っても、手が入れやすいので簡単に取り出せます。
※ブレードは、それぞれエッジのない安心設計になっています。

■所在地: 東京都中央区日本橋箱崎町6-6(本社)

■電話番号: 03-3669-8112(代表)

■ホームページ: wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/index.html



技風堂々No 011 発行責任者: 広報専門委員会 委員長 中島 宏文(タカラスタンダード) 編集長: 藤田 東一(LIXIL)
編集委員: 井上 知春(ナスラック) 大崎 和美(東京ガス) 柴崎 和彦(クリナップ) 滝川 光紀(積水ホームテクノ) 田中 佐知子(三菱ケミカル・クリンスイ)
塚原 敏夫(パロマ) 土井 隆義(永大産業) 前田潤子(大阪ガス) 松本 賢治(TOTO) 山下 藍(渡辺製作所) 高木 利一(事務局) 田中 朋子(事務局)